

直接的な原因に対する再発防止対策等

点検計画表不備への対応

点検計画表の修正

<平成 22 年 9 月 13 日時点取り組み内容>

- ・島根原子力発電所 2 号機第 16 回定期検査 (現在実施中), 1 号機第 29 回定期検査 (次回検査) については, 修正した点検計画表を基に点検を実施。

業務手順の改善・明確化, 手順書の見直し

点検計画の作成・変更, 工事仕様書の作成に関する手順書の見直しなど, 点検不備に至った業務手順の改善・明確化の実施。

【主な対策】

- ・「点検計画作成・運用手順書」の見直し
- ・「工事業務管理手順書」の見直し
- ・部品仕様に関する図書の整備 等

・16 施策ある直接原因に係る再発防止対策は全て完了 (7 月末)

その他の取り組み

点検計画表の継続的見直し

点検計画表における点検方法, 点検頻度等について, 機器の安全重要度, 劣化要因を考慮し, 科学的に, より妥当性の高い内容に継続的に見直していく。

保守管理活動全体を管理する「統合型保全システム(EAM)」の活用

現在開発中の EAM により, 紙ベースで管理している膨大なデータをシステムで管理する。

「原子力強化プロジェクト」は, 発電所と連携して業務プロセスの改善による更なる業務処理の正確性および効率性向上を検討, 実施していく。

<平成 22 年 9 月 13 日時点取り組み内容>

- 点検計画表の継続的改善への取り組み
 - ・点検計画表における点検方法, 点検頻度等の継続的見直しを検討するワーキンググループを結成。
- 点検時期を超過していた機器の健全性確認
 - ・島根原子力発電所 1 号機については, 349 機器中 134 機器につき健全性を確認済み (9/12 時点)。
 - ・島根原子力発電所 2 号機 162 機器の全てについて健全性の確認を終了 (7/27)。
- 保安規定変更命令への対応
 - ・9/6 変更認可。

根本的な原因に対する再発防止対策

根本的な原因

不適合管理

不適合管理を適切, 確実に
行うための仕組みが不足して
いた。

マネジメント

規制要求事項の変更に速やか
に対応してマネジメントでき
る仕組みが十分でなく 適切
な対応ができなかった。

組織・風土

「報告する文化」, 「常に問
いかける姿勢」が組織として
不足していた。

原子力品質マネジメントシステムの充実

不適合管理プロセスの改善

不適合管理が適切に行われ, また不適合の判断が限られた箇所
で決定されること等がないよう, 不適合管理プロセスを改善する。

<平成 22 年 9 月 13 日時点取り組み内容>

- 不適合管理プロセスの改善
 - ・発電所員に対し, 不適合管理の必要性や基準についての教育を実施 (7/29, 30)。
 - ・8 月から, すべての不具合情報について検討し処置を決定する「不適合判定検討会」の運用を開始。

原子力部門の業務運営の仕組み強化 (保守管理体制・品質保証体制の再構築)

規制要求等の状況変化に速やかに対応し, 適切にマネジメントできる
仕組みを強化する。

<平成 22 年 9 月 13 日時点取り組み内容>

- 規制要求等への対応プロセスの改善
 - ・外部からの規制要求に適切に対応するため, 本社と発電所からなる「原子力安全情報検討会」を設置 (7/30)。現在, 第 5 回検討会を開催済み (9/6)。
 - ・原子力部門の重要課題を統括する第 1 回「原子力部門戦略会議」を開催 (7/27), 正式運用を開始。現在, 第 5 回会議を開催済み (9/3)。

原子力安全文化醸成活動の推進

経営における原子力の重要性や地域社会の視点からの安全文化の大切さを
全社 (関係会社・協力会社を含む) で醸成する活動を推進する。

- 原子力安全文化醸成活動の仕組みの強化
 - ・社外有識者を中心に構成し, 第三者視点から提言をいただく「原子力安全文化有識者会議」を設置 (6/29), 現在, 第 2 回会議を開催 (9/12)。
 - ・当社に寄せられたお客さまのご意見等をもとに職場話し合い研修を実施 (7/23~9/3)。安全文化醸成のための研修会を開催 (8/2)。
- 地元の方々との対話活動の充実
 - ・発電所員による島根原子力発電所見学会への対応 (7/8~), 地元定例訪問への参加 (7/12~)。今後, 継続的に実施。
 - ・広報チラシの街頭配布を実施 (8/25, 26)。
 - ・全戸訪問を実施中 (8/30~9/17 予定)。
- 経営層との意見交換会
 - ・島根原子力発電所で, 発電所員と現状の課題について話し合いを実施。社長との意見交換会 (8/23), 副社長との意見交換会 (8/27) を開催。
 - ・全社を挙げて原子力安全文化醸成活動およびコンプライアンスを推進する観点から, 全事業所を対象に役員による事業所訪問を実施中 (8/23~)。